

冲永 莊八

学 歴	
年 月	事 項
平成 4年 3月	京都大学文学部哲学科 卒業
平成 4年 4月	京都大学大学院 人間・環境学研究科 人間・環境学専攻 修士課程 入学
平成 7年 3月	京都大学大学院 人間・環境学研究科 文化・地域環境学専攻 修士課程 修了
平成 7年 4月	京都大学大学院 人間・環境学研究科 文化・地域環境学専攻 博士後期課程 進学
平成 10年 3月	京都大学大学院 人間・環境学研究科 文化・地域環境学専攻 博士後期課程 修了 (京都大学博士 (人間・環境学))
職 歴	
年 月	事 項
平成 11年 4月	帝京大学文学部日本アジア言語文化学科 助教授
平成 13年 4月	帝京大学大学院文学研究科日本アジア言語文化専攻 助教授兼任
平成 13年 4月	慶應義塾大学文学部、文学研究科 哲学、倫理学専攻 非常勤講師 (平成 15年 3月まで)
平成 16年 4月	帝京大学文学部日本アジア言語文化学科 教授 (現、日本文化学科)
平成 16年 4月	帝京大学大学院文学研究科日本アジア言語文化専攻 教授 (現、日本文化専攻)
平成 20年 2月	学校法人帝京学園 理事長 (現在に至る)
平成 20年 2月	帝京学園短期大学 学長 (現在に至る)
平成 24年 7月	東北大学文学部・文学研究科 非常勤講師 (集中講義)
平成 30年 4月	東洋大学大学院文学研究科非常勤講師 (平成 31年 3月まで)
学会及び社会における活動等	
現在所属している学会	日本イギリス哲学会、実存思想協会、比較思想学会、日本宗教学会、日本哲学会、日本倫理学会、関西哲学会、西田哲学会、International Association for History of Religion
年 月	事 項
平成 18年 3月	日本イギリス哲学会 理事 (企画担当) (平成 22年 3月まで)
平成 19年 10月	実存思想協会 編集委員 (現在に至る)
平成 20年 6月	比較思想学会 評議員 (現在に至る)
平成 21年 6月	比較思想学会 研究奨励賞選考委員 (23年度委員長) (平成 23年 6月まで)
平成 22年 9月	日本宗教学会 評議員 (現在に至る)
平成 24年 3月	日本イギリス哲学会 理事 (編集担当) (現在に至る)
平成 24年 3月	比較思想学会 企画運営委員 (現在に至る)
平成 24年 12月	比較思想学会 理事 (現在に至る)
平成 26年 11月	日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員 (平成 28年 10月まで)
平成 27年 6月	アメリカ哲学フォーラム 運営委員 (現在に至る)
平成 28年 9月	日本宗教学会 編集委員 (現在に至る)
平成 29年 3月	宗教哲学会 理事 (平成 31年 3月まで)

研究業績一覧

・単著の著書

- 3 『始原と根拠の形而上学』北樹出版 2019 A5 452pp.
- 2 『心の形而上学—ジェイムズ哲学とその可能性—』創文社 2007 A5 542pp.
- 1 『無と宗教経験—禅の比較宗教学的考察—』創文社 2002 A5 337pp.

・共著の著書

- 9 『プラグマティズムを学ぶ人のために』加賀裕郎、高頭直樹、新茂之編、世界思想社、2017、第2章「ジェイムズ」 pp.41-59 担当。
- 8 『比較思想から見た日本仏教』末木文美士編、山喜房佛書林、2015、「創発主義的生命論と場所論的生命論」 pp.323-49 担当。
- 7 岩波講座『日本の思想』荻部直・黒住真・佐藤弘夫・末木文美士編、第五巻『身と心—人間像の転変』岩波書店、2013年、「古典を読む 西田幾多郎『善の研究』」 pp.322-335 担当。
- 6 『脳科学は宗教を解明できるか?』芦名定道、星川啓慈編 春秋社 2012年、第四章「概念枠としての物質と心—思考不可能な場所からのまなざし」 pp.185-235 を担当。
- 5 『十二支神 龍』韓中日比較文化研究所編 センガゲナム社(韓国) 2010 第3部 文学の中の龍の話と叙事構造「日本の龍の話の叙事構造」(韓国語) pp.166-173.
- 4 『よくわかるライフデザイン入門』第1版 導入教育研究会編 古今書院 2010 第3部第7章「文章を書く レポートを書く」 pp.60-79.『教師用手引き』(導入教育研究会自主作成)pp.19-31.
- 3 『ライフデザイン演習 I・II』帝京大学 総合教育センター編 2009 第7章:考えるための基礎「論理的な文章をじっくりと読むこと」 pp.175-188.
- 2 『日本文化を知る 続』おうふう 2001、第四章「日本の宗教思想—中世神道論より近世仏教思想まで」 pp.135-220.
- 1 『日本文化を知る』おうふう 2000、第四章「日本の宗教思想—古代から鎌倉仏教まで」 pp.145-207.

・学術論文(すべて単著)

- 53 「始原の『驚き』と『自然』—九鬼周造の『原始偶然』と南部陽一郎の『自発的対象性の破れ』」『帝京大学学修・研究支援センター論集』vol.10、2019年3月、pp.1-18.
- 52 「身体の死後に意識を存続させる試みについての哲学的考察」『人間存在論』第24号、京都大学大学院人間・環境学研究科『人間存在論』刊行会、2018年7月、pp.33-46.
- 51 「超越的次元のゆくえ—宗教経験の脳神経科学をふまえて」『宗教哲学研究』宗教哲学会 2018年3月、pp.13-27.
- 50 「『語り得ぬもの』と問いの消滅—前期ウィトゲンシュタインにおけるトルストイ『要約福音書』の意義」『帝京大学学修・研究支援センター論集』vol.9、2018年3月、pp.1-18.
- 49 「多元的宇宙間の断絶と連続」『近世哲学研究』第20号、京都大学近世哲学史懇話会、2017年3月、pp.93-109.
- 48 「量子論から意識へのアプローチ—主観、自由、原因のゆくえ」『帝京大学総合教育センター論集』第8号、2017年3月、pp.1-22.
- 47 「生死の矛盾をつなぐ生命」『比較思想研究』第43号、比較思想学会、2017年3月、pp.61-66.

- 46 「人間原理と始原への問い」『帝京大学総合教育センター論集』第7号、2016年3月、pp.1-25.
- 45 「創発と生命概念」『比較思想研究』第42号、比較思想学会、2016年3月、pp.52-57.
- 44 「実在に関する知識と信念—脳科学の知見から」『実存思想論集』XXX 特集 信仰と実存、実存思想協会、2015年6月、pp.85-106.
- 43 「探究の方法としての比較思想」『比較思想研究』41号、比較思想学会、2015年3月、pp.65-70.
- 42 "Metaphysics of Pure Experience", *Collected Papers of the Teikyo University Center for Fundamental Education*, vol.6, 2015,3, pp.1-16.
- 41 "The Mystery of Twice Born and the Origin of Nihilism", *Collected Papers of Teikyo Studies of Japanese Culture*, vol.21, 2014,10, pp.288-260.
- 40 「プラグマティズムと形而上学—ウィリアム・ジェイムズとフェルディナンド・C・S・シラーを中心に—」『哲学研究』第五九八号、京都哲学会、2014年10月、pp.18-41.
- 39 「「生命」はどこにあるのか—ベルクソンの進化と実在についての考察を手がかりとして—」『総合教育センター論集』vol.5, 2014, pp.1-23.
- 38 「矛盾と偶然—形而上学的次元の二つの相」『比較思想研究』 第39号 2013 pp.59-67.
- 37 「ニヒリズムの成立条件とその消滅」『帝京大学総合教育センター論集』 vol.4, 2013, pp.1-22.
- 36 「心はなぜ形而上学の問題となるか—ベルクソンと西田を手がかりに」『比較思想研究』 第38号 2012, pp.76-84.
- 35 「脳が心を生み出すとはどのようなことか」『帝京大学総合教育センター論集』vol.3, 2012, pp.1-31.
- 34 「形而上学の問題と西田場所論」（課題研究 西田哲学—その論理基盤を問う）『アルケー』19号 関西哲学会 2011, pp.16-30.
- 33 "Is Religious Experience a Matter of Brain?" *Bulletin of the Teikyo University Center for Fundamental Education*, vol.2, 2011, pp.1-19.
- 32 「私の消滅による自由—ジェイムズの神秘主義研究と西田哲学」『比較思想研究』 第37号 2011 pp.101-109.
- 31 「知の拡大と語り得ぬもの—科学と宗教との境界について」『帝京大学総合教育センター論集』創刊号 2010 pp.1-17.
- 30 「人間の欲求変容と環境思想」『帝京大学外国語外国文学論集』第15号 2009 pp.1-25.
- 29 「規則と場所—ウィトゲンシュタインと西田における根拠なき根源についての考察」『比較思想研究』 第35号 2009 pp.46-54.
- 28 「場所論から見たニヒリズムの問題」『西田哲学会年報』西田哲学会 第5号 2008 pp.113-128.
- 27 "Unity and before Unity: on the two types of 'Pure Experience'", *Collected Papers on foreign Language and Literature at Teikyo University*, No.14, 2008, pp. 1-15.
- 26 「『この私』の唯一性に関する論理と経験」『比較思想研究』第32号 2006 pp.26-36.
- 25 「『この私』はなぜ謎を呼び起こすのか —私に付属する性質が消去された視線からの考察」『近世哲学研究』第12号 京都大学 近世哲学史懇話会 2006 pp.34-56.
- 24 "'I'-Frame and the 'Mystery' of Being: the 'solution' of it by returning to experience." *Interdisziplinäre Phänomenologie*, vol.3. Herausgegeben von Tadashi Ogawa und Hisashi Kashiwa, Lehrstuhl fuer "Philosophy of Human and Environmental Symbiosis" an der "Graduate school of Global Environmental Studies", Kyoto University, 2006, pp.77-94.

- 23 「内的特性の存在論的位置—ジェイムズ『経験』概念の検討を通じて—」『哲学』第56号 日本哲学会 2005 pp.157-169.
- 22 「自我の空と純粹経験」『比較思想研究』成田山臨時大会号 2004 pp.72-79.
- 21 「実在の根本としての純粹経験」『人間存在論』第10号 京都大学大学院人間・環境学研究科 総合人間学部『人間存在論』刊行会 2004 pp.65-76.
- 20 「意識流の存在論的位置づけ—W. ジェイムズの前期思想を中心に—」『イギリス哲学研究』27号 日本イギリス哲学会 2004 pp.55-69.
- 19 「プラグマティズムと意識論—ウィリアム・ジェイムズの議論から—」『理想』理想社 669号 特集プラグマティズムの現在 2002 pp.35-46.
- 18 「心の所在と機能主義」『倫理学年報』第51号 日本倫理学会 2002 pp.161-176.
- 17 「意識流における自我の射程」『現象学年報』日本現象学会 第17号 2001 pp.139-148.
- 16 「デウス・空・救済—不干斎ハビアン思想について—」『悠久』おうふう 第八十六号 2001 pp.69-82.
- 15 「プラグマティズムにおける『新しさ』の形而上学」『実存思想論集』XVI 実存思想協会 2001 pp.179-197.
- 14 「「私」の同一性根拠 —ウィリアム・ジェイムズにおける「主我」論をめぐる—」『現象学年報』日本現象学会 第16号 2000 pp.237-240.
- 13 「ウィリアム・ジェイムズにおける真理概念と宗教」『日本文化環境論講座紀要』京都大学大学院人間・環境学研究科 日本文化環境論講座 第2号 2000 pp.39-50.
- 12 「禅言語の逆説構造 —ウィトゲンシュタインの規則論を手がかりに—」『比較思想研究』第26号 2000 pp.43-51.
- 11 「肯定としての「無」 —禅言語の二つの次元—」『宗教研究』日本宗教学会 320号 1999 pp.1-26.
- 10 「荷沢神会の「衆生心」について2—禅宗諸派における頓漸の実際—」『禅学研究』禅学研究会 第77号 1999 pp.10-28.
- 9 「宗教体験と悟り —ジェイムズと白隠との比較から—」『比較思想研究』比較思想学会 第25号 1999 pp.73-82.
- 8 「心と靈魂 —意識の辺縁から心霊研究へ—」『日本文化環境論講座紀要』京都大学大学院 人間・環境学研究科 日本文化環境論講座創刊号 1999 pp.11-24
- 7 博士論文 『禅と宗教経験』京都大学大学院人間・環境学研究科 1998年3月学位授与。
- 6 「荷沢神会の「衆生心」について1—禅における自然と頓悟の問題—」『禅学研究』第76号 禅学研究会 京都 1998 pp.32-48.
- 5 「禅と本覚 —『大乘起信論』における所説をめぐる—」『帝京大学文学部紀要国語国文学』第二十九号 1998 pp.19-74.
- 4 「宗教体験とその解釈 —W.ジェイムズの場合2—」『帝京女子短期大学紀要』第17号 1997 pp.237-264.
- 3 「禅経験と宗教経験 —白隠における見性の特色をめぐる—」『禅文化研究所紀要』第二三号 禅文化研究所 京都 1997 pp.291-332.
- 2 「宗教体験とその解釈 —W.ジェイムズの場合1—」『帝京女子短期大学紀要』第16号 1996 pp.77-103.
- 1 『臨濟録』における「無事」の問題 —宗教心理学からの試論—」『帝京大学文学部紀要国語国文学』第二十七号 1996 pp.59-97.

・学会発表 (タイトルはすべて単独の発表に付されたもの)

- 52 「プラグマティズムにおける真理の確定不可能性の根拠について」日本宗教学会第 77 回学術大会、於大谷大学、2018 年 9 月。『宗教研究』第 92 巻別冊 第 77 回学術大会紀要特集 pp.180-81 に要旨掲載。
- 51 “On the Premises of Naturalistic Views of Life,” 24th The World Congress of Philosophy, at China National Convention Center, Beijing, 17, Aug., 2018.
- 50 “‘Originary Event’ and ‘Spontaneous Breaking of Symmetry’: The Attitudes of Kuki Shuzo and Nanbu Yoichiro toward the causal Law”, The Third Conference of European Network of Japanese Philosophy, at the Institut National des Langues et Civilisations Orientales, Paris, Nov. 3, 2017.
- 49 「『私』を肉体の死後も存続させようとする試みについての哲学的考察」日本宗教学会第 76 回学術大会、於東京大学本郷キャンパス、2017 年 9 月。『宗教研究』第 91 巻別冊 第 76 回学術大会紀要特集 pp.202-03 に要旨掲載。
- 48 「Goodman, Russell B., *Wittgenstein and William James*, Cambridge UP, 2002 における、二人の哲学者の思想的類似と相違について」アメリカ哲学フォーラム第四回大会、於東京女子大学、2017 年 6 月
- 47 「超越的次元のゆくえ—宗教経験の脳神経科学をふまえて」（招待講演）宗教哲学会第九回学術大会、於京都大学吉田キャンパス、2017 年 3 月。
- 46 「創発説は決定論と自由意志との対立をどのように扱ったか」日本宗教学会第 75 回学術大会、於早稲田大学戸山キャンパス、2016 年 8 月。
- 45 「生死の矛盾をつなぐ生命—3 年間に総括して」比較思想学会 第 43 回学術大会、企画パネル「死をめぐる生命」、於関西大学、2016 年 6 月。
- 44 「「アメリカ哲学の新展開—『現代思想／特集 今、なぜプラグマティズムか』を中心として」4 人の発表者へのリスボンダンス」アメリカ哲学フォーラム第三回大会、於京都大学吉田キャンパス、2016 年 6 月。
- 43 “Metaphysical Contradictions and the Plurality of the Universe”, Society for the Advancement of the American Philosophy, in APA Central Division Meeting, at Palmer House Hilton, Chicago IL. USA, 2016,3.
- 42 「意味との合一、問いの消滅—『要約福音書』が語りかけたこと」、公募パネル「戦場のウィトゲンシュタイン」2015, 9、日本宗教学会第 74 回学術大会 於創価大学
- 41 “The “Logic of Basho” of Nishida Kitaro and the Question about the Beginning: Contrasting with ‘Original Chance’ of Kuki Shuzo.”, XXI International Association for History of Religion World Congress, 2015, 8 at Erfurt University, Germany.
- 40 「創発と生命概念」比較思想学会 第 42 回大会 企画パネル「生命概念の再検討—生きているとはどのようなことか」於東洋大学 2015、6
- 39 「生命概念と創発性—生命と物理主義との連続と断絶とをめぐって—」日本宗教学会 第 73 回学術大会 於同志社大学 2014、9 『宗教研究』第 88 巻別冊 第 73 回学術大会紀要特集に要旨掲載予定。
- 38 「「生命」はどこにあるのか—ベルクソンの「跳躍」と西田の生命論を手がかりに—」日教研共同研究「日本仏教の比較思想的研究」、於国際日本文化研究センター 2013,9
- 37 「「生命」の存在論—物質、精神、目的をめぐって—」日本宗教学会 第 72 回学術大会 於国学院大学 2013、9。『宗教研究』第 87 巻別冊 第 72 回学術大会紀要特集 pp.249-50 に要旨掲載
- 36 “Metaphysics of Pure Experience”, 23rd World Congress of Philosophy: Philosophy as Inquiry and Way of Life, at University of Athens, School of Philosophy, 2013,8. *Abstracts*, p.522.
- 35 「プラグマティズムと形而上学—ジェイムズとシラーを中心に—」日本イギリス哲学会第 37 回研究大会 シンポジウムⅡ「イギリス思想とアメリカ」シンポジストとして発表 於東北大学 2013、3
- 34 「絶対矛盾の形而上学」招待講演 於東北大学 哲学・倫理学合同研究室 2012、7
- 33 「矛盾と偶然—形而上学的次元の二つの相」比較思想学会 第三十九回大会 於お茶の水女子大学 2012、6

- 32 「心と脳」の概念性と実在」日本宗教学会 第七十回学術大会 於関西学院大学 2011 『宗教研究』第 371 号 pp.490-91 に要旨掲載
- 31 「心はなぜ形而上学の問いとなるか」比較思想学会 第三十八回大会 於早稲田大学 2011
- 30 「形而上学の問いと西田場所論」関西哲学会第 63 回大会 於同志社大学 2010 シンポジウム「西田哲学：その論理基盤を問う」パネリストとして発表
- 29 「宗教体験から見た脳と心—心身問題への逆照射」日本宗教学会第六十九回学術大会 於東洋大学 2010 公募パネル「脳科学と宗教体験—現代における宗教哲学の立ち位置」のパネリストとして発表 『宗教研究』367 号 pp.199-201 に要旨掲載
- 28 "Is Religious Experience a Matter of Brain?" X X th World Congress of the International Association for the History of Religions, at Toronto University, 2010. *RELIGION, A Human Phenomenon* (Proceedings), p.93.
- 27 「私の消滅による自由—ジェイムズの神秘主義研究と西田哲学」比較思想学会 第三十七回大会 於武蔵野大学 2010
- 26 「科学と宗教とが扱う領域の相異について」日本宗教学会第六十八回学術大会 於京都大学 2009 『宗教研究』363 号 pp.224-225. に要旨掲載
- 25 「直接経験と環境哲学」日本宗教学会第六十七回学術大会 於筑波大学 2008 『宗教研究』359 号 pp.412-413. に要旨掲載
- 24 「ウィトゲンシュタインと西田における根拠なき根源についての考察」比較思想学会第三十五回大会 於日本大学文理学部 2008
- 23 「根拠なき信念再考」日本宗教学会第六十六回学術大会 於立正大学 2007 『宗教研究』355 号 pp. 211-213 に要旨掲載
- 22 「ニヒリズムが成立する前提についての考察」日本宗教学会第六十五回大会 於東北大学 2006 『宗教研究』351 号 pp.218-219. に要旨掲載
- 21 「『私』と存在の『神秘』」日本宗教学会第六十四回大会 於関西大学 2005.公募パネルとして発表 『宗教研究』347 号 pp.146-147. に要旨掲載
- 20 「『この私』の唯一性に関する論理と経験」比較思想学会第三十二回大会 於関西大学 2005 シンポジストとして発表
- 19 "Why does the mystery of the existence of I arise?" XIXth World Congress of the International Association for the History of Religions.at Takanawa Prince Hotel. 2005
- 18 「私が存在するに到った理由—純粹経験説を手がかりに」実存思想協会 10 月研究会 於慶応義塾大学三田キャンパス 2004
- 17 「自我の空と純粹経験」比較思想学会臨時大会 於成田山新勝寺 2004
- 16 「宗教経験の実在性」日本宗教学会 第六二回学術大会 於天理大学 2003『宗教研究』339 号 pp.151-152. に要旨掲載
- 15 「内的特性の存在論的位置—ウィリアム・ジェイムズの経験概念をめぐって」日本哲学会 第 62 回大会 於東洋大学白山キャンパス 2003
- 14 「意識流の存在論的位置づけ—ウィリアム・ジェイムズの前期思想を中心に」日本イギリス哲学会 第 27 回研究大会 於法政大学市谷キャンパス 2003
- 13 「純粹経験の存在論」日本宗教学会 第六一回学術大会 於大正大学 2002『宗教研究』335 号 pp.142-143. に要旨掲載
- 12 「心の所在と機能主義」日本倫理学会 第 52 回大会 於山形大学 2001

- 11 「心の所在 —機能主義からの帰結と意識流」 日本宗教学会 第六〇回学術大会 於久留米大学 2001 『宗教研究』331号 pp.132-133. に要旨掲載
- 10 「意識流における自我の射程」 日本現象学会 第22回学術大会 於東京大学 2000
- 9 「新しさの形而上学 —プラグマティズム的実在認識の視点から」 日本宗教学会第五十九回学術大会 於駒沢大学 2000 『宗教研究』327号 pp.88-89. に要旨掲載
- 8 「私の同一性根拠 —ウィリアム・ジェイムズの「主我」論をめぐって」 日本現象学会 第21回学術大会 於関西大学 1999
- 7 「内的経験と宗教言語」 日本宗教学会 第五十八回学術大会 於南山大学 1999 『宗教研究』323号 pp.40-42. に要旨掲載
- 6 「禅言語の逆説構造 —ヴィトゲンシュタインの規則論を手がかりに —」 比較思想学会第二十六回大会 於富山県宇奈月町・宇奈月国際会館 1999a
- 5 「肯定としての無の構造 —即非の論理と禅 —」 日本宗教学会 第五十七回学術大会 於龍谷大学 1998 『宗教研究』319号 pp.196-198. に要旨掲載
- 4 「宗教体験と悟り —ジェイムズと白隠との比較から —」 比較思想学会第二十五周年記念大会 於文京女子大学 1998
- 3 「神会の「衆生心」について —頓漸の問題をめぐって —」 日本宗教学会 第五十六回学術大会 於慶応大学 1997 『宗教研究』315号 pp.260-261. に要旨掲載
- 2 「見性の心理構造 —白隠を中心に —」 日本宗教学会 第五十五回学術大会 於国学院大学 1996 『宗教研究』311号 pp.258-259. に要旨掲載
- 1 「W.ジェイムズにおける宗教的真理の問題」 日本宗教学会 第五十四回学術大会 於沖縄国際大学 1995 『宗教研究』307号 pp.251-252. に要旨掲載

・その他（翻訳、辞典、辞書など）

- 24 書評「ラッセル・B・グッドマン（嘉指信雄・岡本由起子・大厩諒・乗立雄輝訳）『ウィトゲンシュタインとウィリアム・ジェイムズ』」 『イギリス哲学研究』第41号、2018、pp.70-72.
- 23 書評 “Peter Sullivan & Michael Potter eds. *Wittgenstein's Tractatus: History & Interpretation*” 『イギリス哲学研究』第40号、2017、pp.92-93.
- 22 「『高等教育開発センターフォーラム』創刊の辞」 『高等教育開発センターフォーラム』創刊号、帝京大学高等教育開発センター 2014 pp.1-2.
- 21 「科学研究費基盤研究（C）21520027 研究成果報告書」（研究代表者 沖永荘八(=宜司)） 2014 pp.1-6.
- 20 書評「井上克人著『西田幾多郎と明治の精神』、井上克人編著『豊饒なる明治』」 『比較思想研究』40号 2014 pp.167-69.
- 19 書評「沖永からのリプライ」 芦名定道・星川啓慈「保呂篤彦氏の書評に答えて」 『宗教研究』378号 2013, pp.136-7.
- 18 事典『現代社会学事典』吉見俊哉、大澤真幸、鷲田清一編 弘文堂 2012 「内在性と超越性」「回心」を担当
- 17 書評「星川啓慈著 『宗教と「他」なるもの』」 『宗教研究』372号 2012 pp.139-145.
- 16 報告書「日本イギリス哲学会第34回研究大会 シンポジウムⅡ 大正期の日本思想に与えたイギリス思想の影響 司会者による総括」 名古忠行氏との共著 『イギリス哲学研究』第34号 2011 pp.131-32.

- 15 事典『宗教学事典』星野英紀・池上良正・氣多雅子・島菌進・鶴岡賀雄編 丸善株式会社 2010 pp.82-85 「科学と宗教」を担当
- 14 書評「伊藤邦武著 『ジェイムズの多元的宇宙論』」『イギリス哲学研究』33号 2010 pp.119-121.
- 13 書評「コリン・マッギン著 『マインド・サイト』」『イギリス哲学研究』32号 2009 pp.125-127
- 12 報告書「心の世界の根源としての経験の可能性に関する研究」科学研究費補助金研究成果報告書 若手研究 (B) 2009 pp.1-13.
- 11 書評 "Mitchell Green and John N. Williams ed. 'Moore's Paradox: New Essays on Belief, Rationality, and the First Person', Oxford U.P.,2007." 『イギリス哲学研究』31号 2008 pp.91-92.
- 10 翻訳 『生命倫理百科事典』Stephen G.Post, 生命倫理百科事典翻訳刊行委員会編、丸善 2007年、「倫理の原則と、助言的意見を加えた職業倫理規定 アメリカ歯科医協会」pp.2758-67 (原典頁) 担当。
- 9 事典『イギリス哲学思想事典』日本イギリス哲学会編 研究社 2007「シラー J.F.C.」、「マクドゥーガル W.」を担当
- 8 一般向け論文「限定されざるものと形而上学の課題」『創文』497号 創文社 2007 pp.11-14.
- 7 書評「司馬春英著 『唯識思想と現象学』大正大学出版会」『宗教研究』342号 日本宗教学会 2004 pp.147-153.
- 6 一般向け論文「純粹経験の隠された論理」『創文』451号 創文社 2003 pp.6-10.
- 5 一般向け論文「問いの消滅」『創文』441号 創文社 2002 pp.21-26.
- 4 書評「富田恭彦著 『柏木達彦の多忙な夏』ナカニシヤ出版」バイオエシックスを考える学生の会会報 Vol.3, No.3, 1997
- 3 翻訳 アメリカ人類遺伝学会「アメリカ人類遺伝学会報告 遺伝学的研究のためのインフォームドコンセントについての声明」(原文 Am. J. Hum. Genet. 59: 471-474, 1996)
- <http://square.umin.ac.jp/~mtamai/ASHG/ashg.html> 翻訳所収。
- 2 翻訳 アメリカ人類遺伝学会情報教育委員会「アメリカ人類遺伝学会報告 アメリカ人類遺伝学会情報教育委員会からの報告—遺伝学についてのメディカルスクールコアカリキュラム」(原文 Am. J. Hum. Genet. 56: 535-537, 1995)、同上 HP 翻訳所収。
- 1 翻訳 アメリカ人類遺伝学会「アメリカ人類遺伝学会による、乳癌と卵巣癌の因子への遺伝学的検査についての声明」(「アメリカ人類遺伝学会声明」原文 Am. J. Genet. 55: i-iv, 1994)、同上 HP 翻訳所収。

・科学研究費補助金

- 5 2015-2018年度(予定) 基盤研究(C) 課題番号 15K02086 「生命創発の形而上学的諸問題に関する比較思想的研究」(研究代表者)
- 4 2009-2013年度 基盤研究(C) 課題番号 21520027 「心の形而上学的諸問題に関する場所論的考察」(研究代表者)
- 3 2006-2008年度 若手研究(B) 課題番号 18720006 「心と世界の根源としての経験の可能性に関する研究」(研究代表者)
- 2 2006年度 研究成果公開促進費(学術図書) 課題番号 185023 出版図書『心の形而上学—ジェイムズ哲学とその可能性』創文社 著者 沖永宜司(研究代表者)
- 1 2001年度 研究成果公開促進費(学術図書) 課題番号 135003 出版図書『無と宗教経験—禅の比較宗教学的考察』創文社 著者 沖永宜司(研究代表者)

・受賞

- 4 日本学術振興会科研費審査委員表彰 2016年9月
- 3 平成19年度和辻賞（日本倫理学会）2007年10月
- 2 2007年度日本宗教学会賞 2007年9月
- 1 第13回比較思想学会研究奨励賞 2001年6月